

奈良県保育士等実態調査結果 (要約版)

※この「要約版」は別添「奈良県保育士実態調査結果(暫定版)」の一部を要約したものに、今後の施策の検討にあたり重要と思われる設問のクロス集計結果及び「保育士養成施設用調査」の結果を加えたものです。

平成25年11月

奈良県こども・女性局 子育て支援課

奈良県保育士等実態調査結果(要約版)

目 次

単純集計結果

○保育士登録者用調査

- 【属性】 ・年代 P1
・性別
・資格の取得方法
・居住地
・配偶者の有無
・家計の主たる生計者
- 【設問】1 現在の年収 P2
2 現在の給与に対する勤務内容との比較
3 給与が安いと思う主な理由
4 保育士として働いていきた中でやりがいに感じる事 P3
5 (現在、保育士として勤務されている方)現在の施設で働きたくない理由
6 (過去に退職経験があり、現在も保育士として就労している方)退職した理由 P4
7 (現在、保育士として就労していない方)退職した理由
8 (現在、保育士として勤務していない方)今後の就労希望 P5
9 再就職に際して最も不安に思うこと
10 保育士人材バンク等の活用意向
- 【属性】 ・施設の所在圏域 P6
・施設の種類
・設置主体
- 【設問】1 現在、保育士の採用に困難を感じているか(圏域、施設種類、設置主体別) P7
2 保育士を安定的に雇用していくために望む公的支援 P8
3 新卒以外で採用した保育士の経歴
4 今後、保育士の雇用に関する支援で求めるもの P9
5 潜在保育士を雇用するメリット

主なクロス集計結果

- 1 希望する雇用形態(年代及び現任保育士・潜在保育士別) P10
2 保育士としてやりがいに感じる事(経験年数・雇用形態別) P11
3 保育士として対応が難しいと感じる事(経験年数・雇用形態別) P12
4 希望する勤務地、通勤時間(現任保育士の現状と希望、潜在保育士の希望) P13
5 職場定着のための取組と勤続年数との関係 P14

○保育士養成施設用調査

<養成施設調査>

- 1 認可保育所に就職した学生の内訳(県内・県外別) P15
2 学生に対して実施している就職支援策
3 卒業生に対する就職支援策 P16

<学生調査>

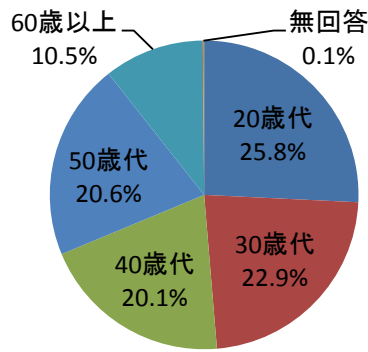
- 1 保育士としての就職を希望するか P17
2 「希望しない」または「どちらでもない」理由
3 問題が解消された場合の保育士としての就職希望 P18

保育士実態調査(保育士登録者用)集計結果

【属性】

◇年代

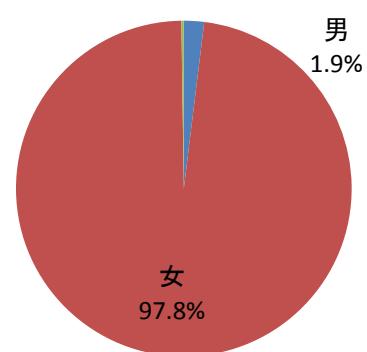
(問1①)



回答数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
2,981	768	683	598	615	313	4

◇性別

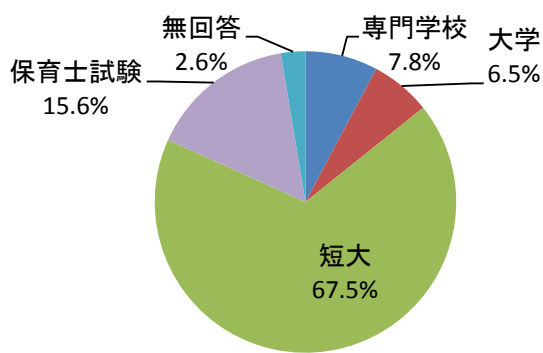
(問1②)



回答数	男	女	無回答
2,981	58	2,916	7

◇資格の取得方法

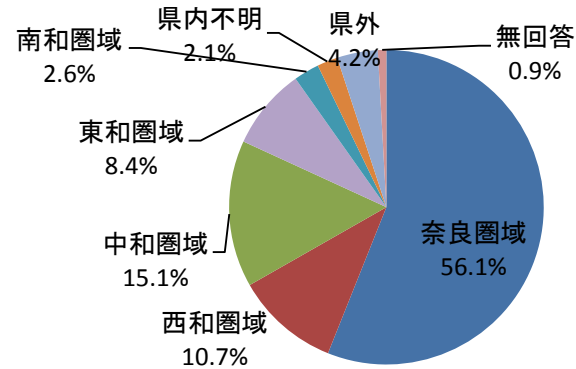
(問1③)



回答数	専門学校	大学	短大	保育士試験	無回答
2,981	232	193	2,012	466	78

◇居住地

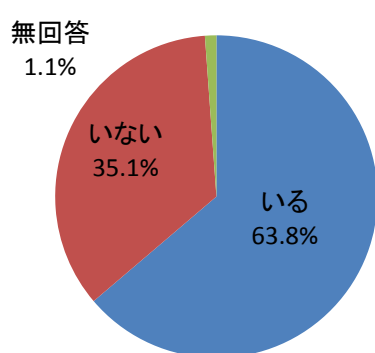
(問1④)



回答数	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域	県内不明	県外	無回答
2,981	1,671	319	450	249	78	63	125	26

◇配偶者の有無

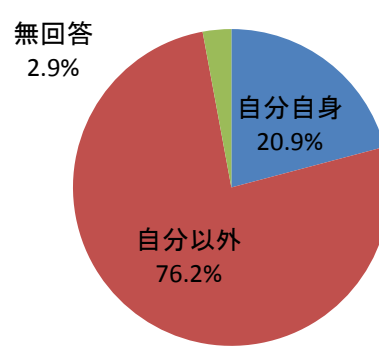
(問1⑤)



回答数	いる	いない	無回答
2,981	1,901	1,046	34

◇家計の主たる生計者

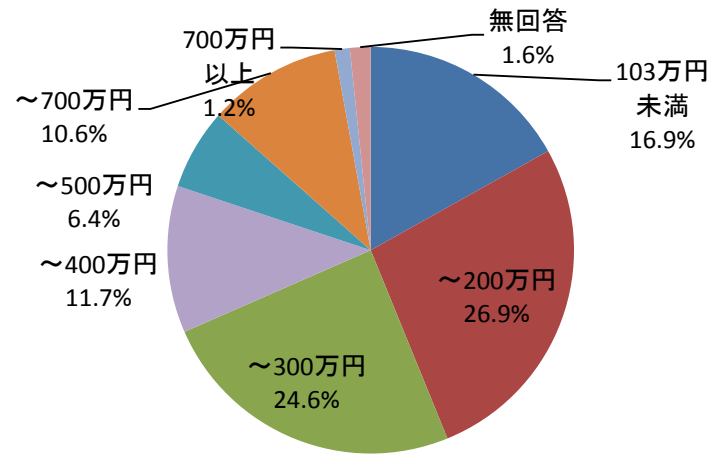
(問1⑥)



回答数	自分自身	自分以外	無回答
3,022	631	2,303	88

1 現在の年収

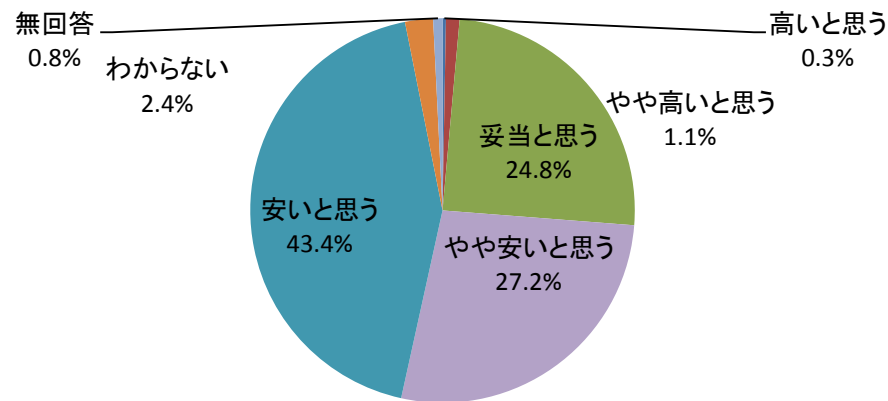
(問14)



回答数	103万円未満	120万円	130万円	140万円	150万円	170万円	700万円以上	無回答
	237	378	345	164	90	149	17	23

2 現在の給与に対する勤務内容との比較

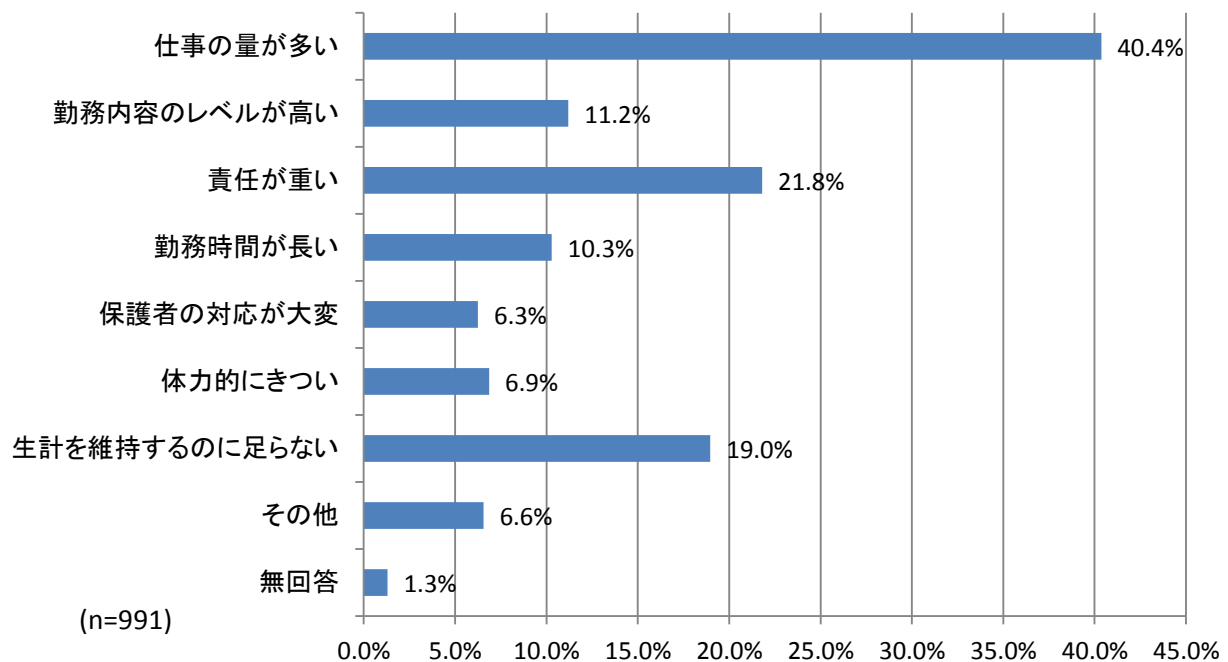
(問14-1)



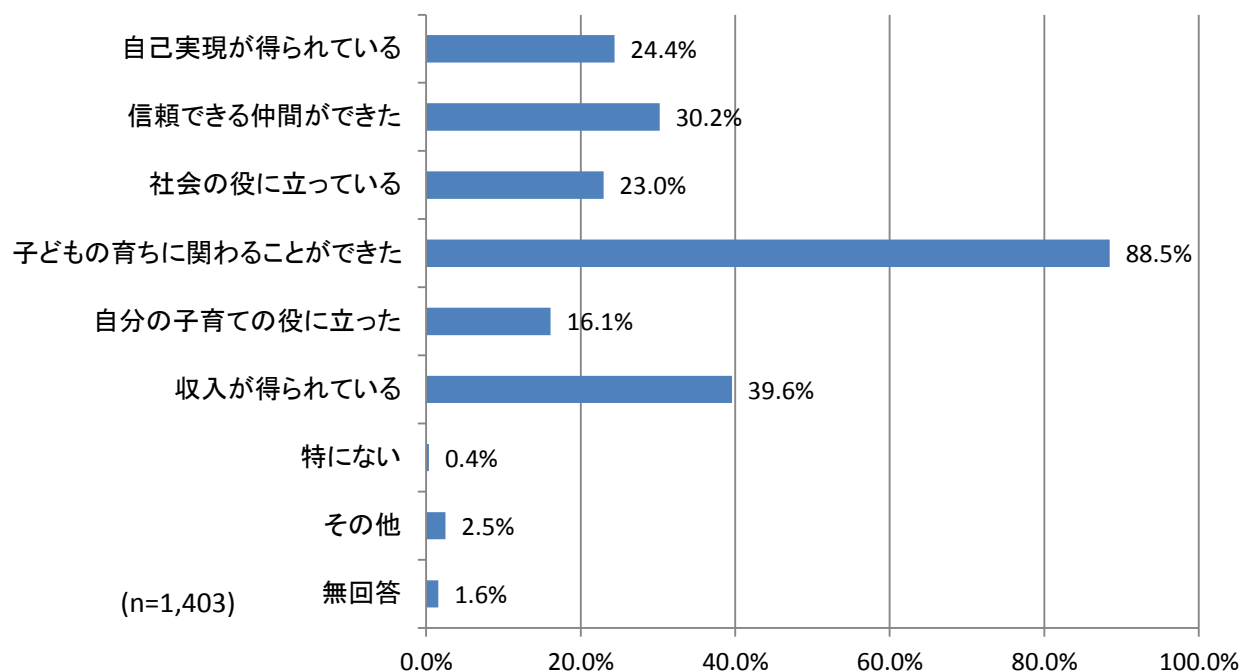
回答数	高いと思う	やや高いと思う	妥当と思う	やや安いと思う	安いと思う	わからない	無回答
	4	16	348	382	609	33	11

3 給与が安いと思う主な理由(複数回答)

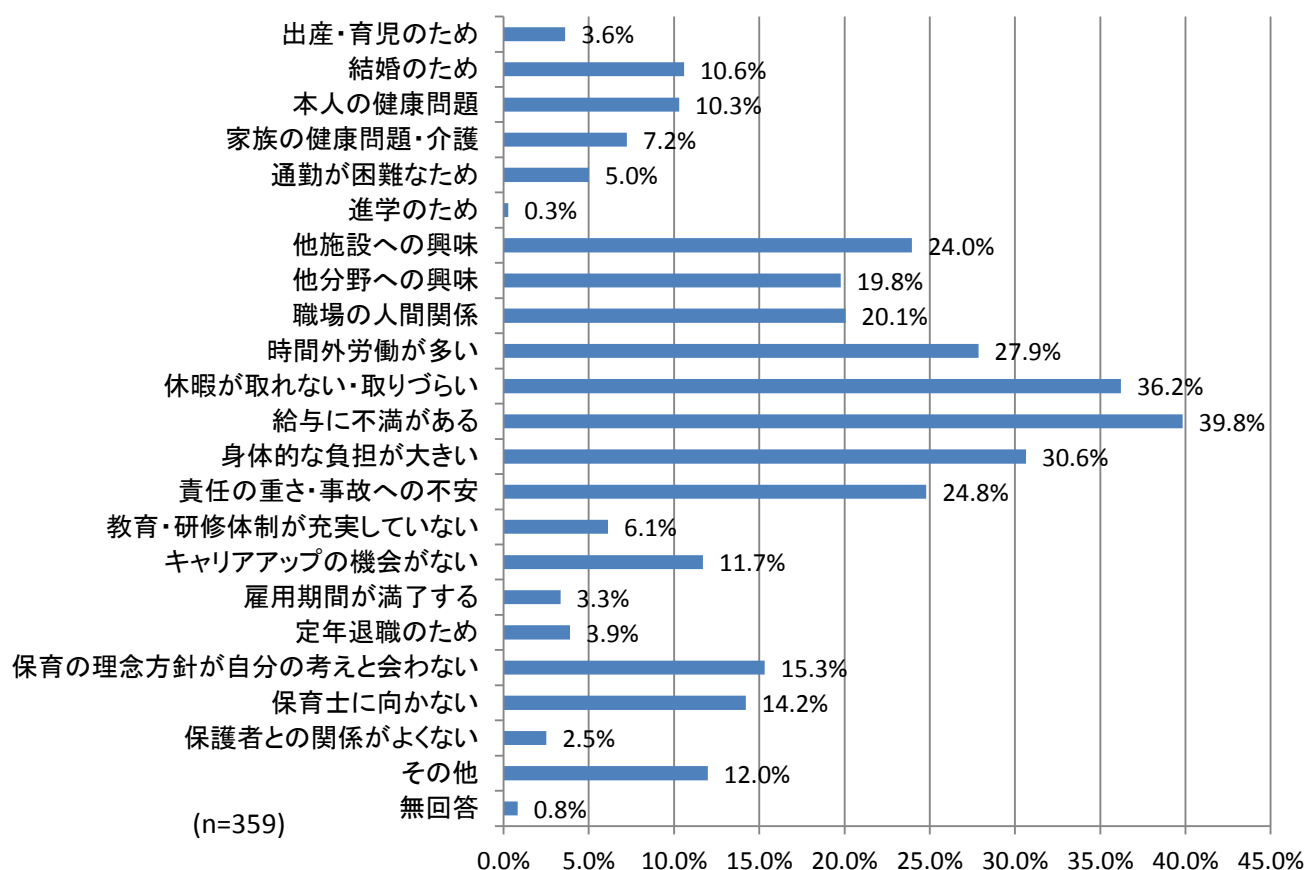
(問14-2)



4 あなたが保育士として働いてこられた中で、やりがいに感じることは何ですか(〇は3つまで) (問17)

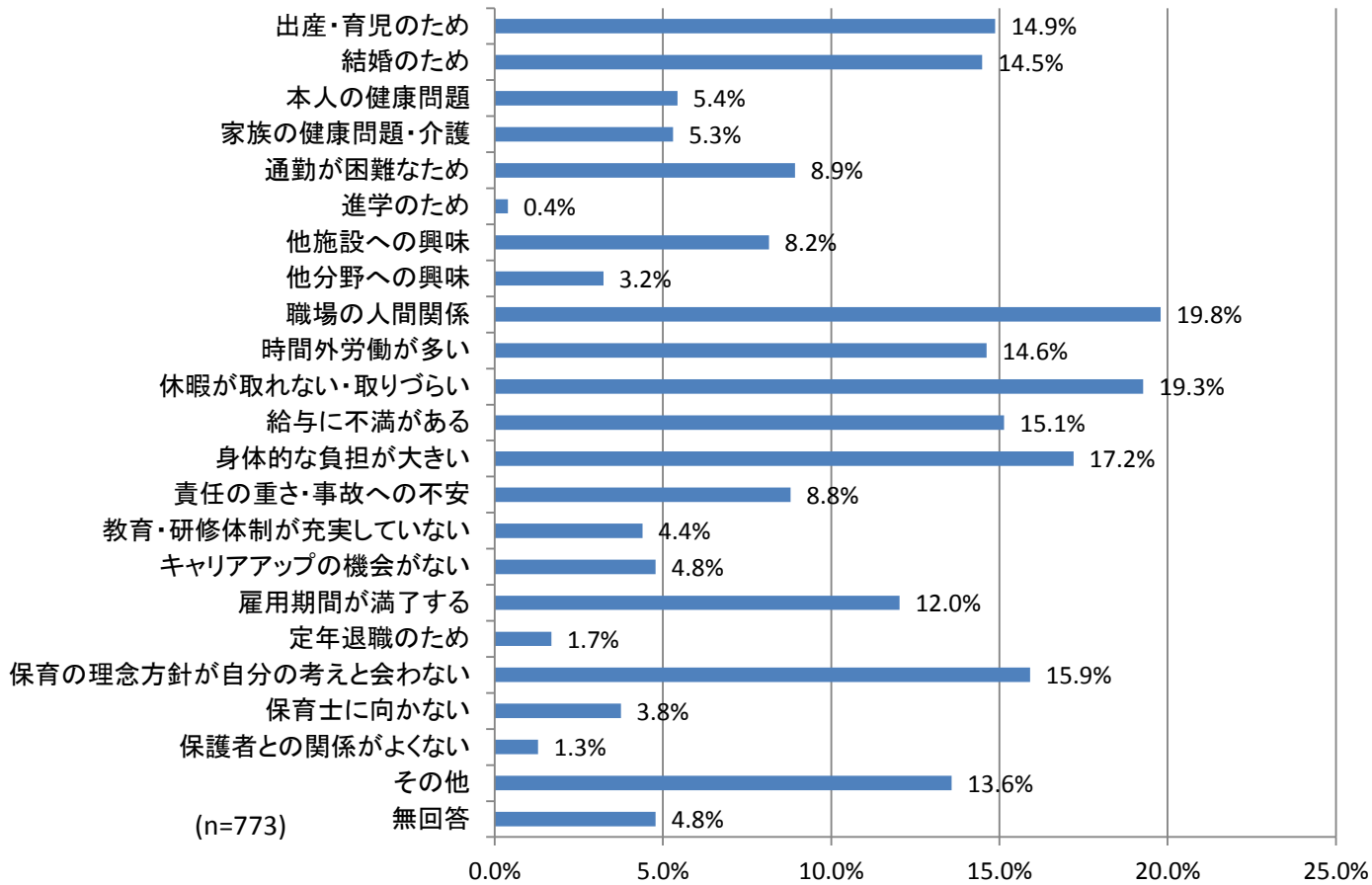


5 (現在、保育士として就労している方)現在の施設で働きたくない理由(複数回答) (問23)



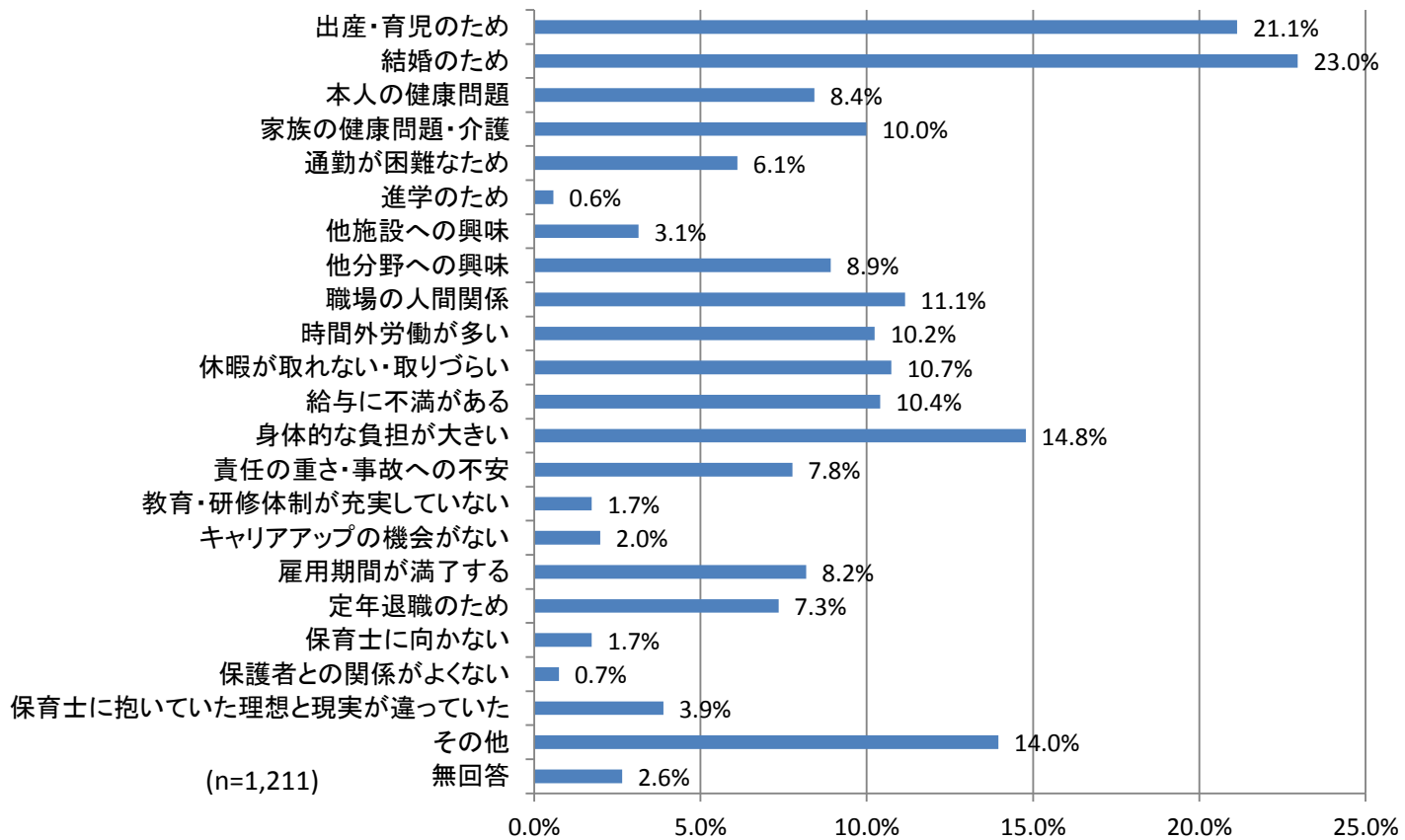
6 (過去に退職経験があり、現在も保育士として就労している方の)退職した理由(複数回答)

(問26)



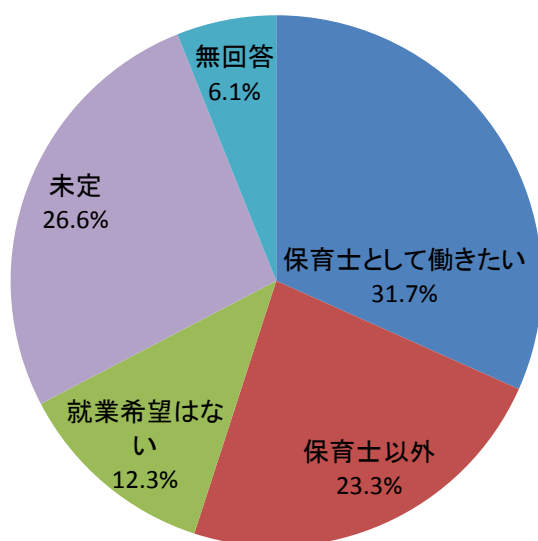
7 (現在、保育士として就労していない方の)退職した理由(複数回答)

(問33-2)



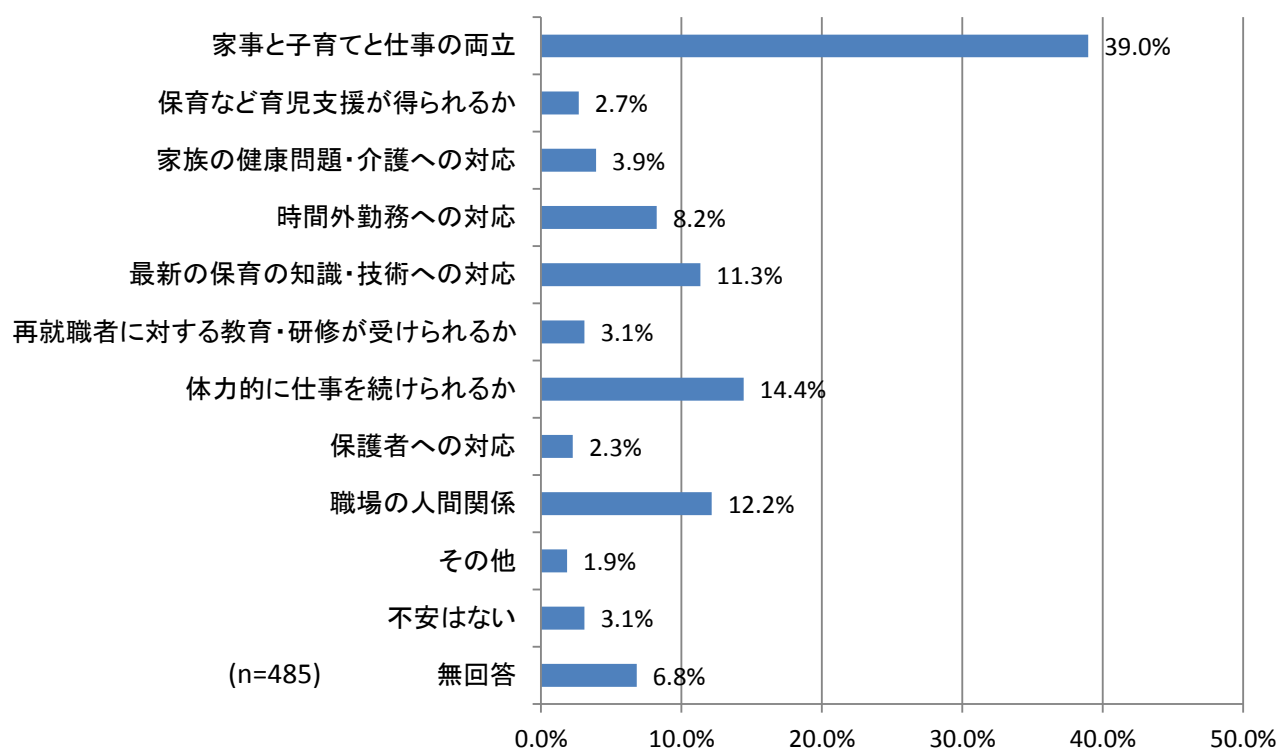
8 (現在、保育士として勤務していない方の)今後の就労希望

(問35)



9 再就職に際して最も不安に思うこと(複数回答)

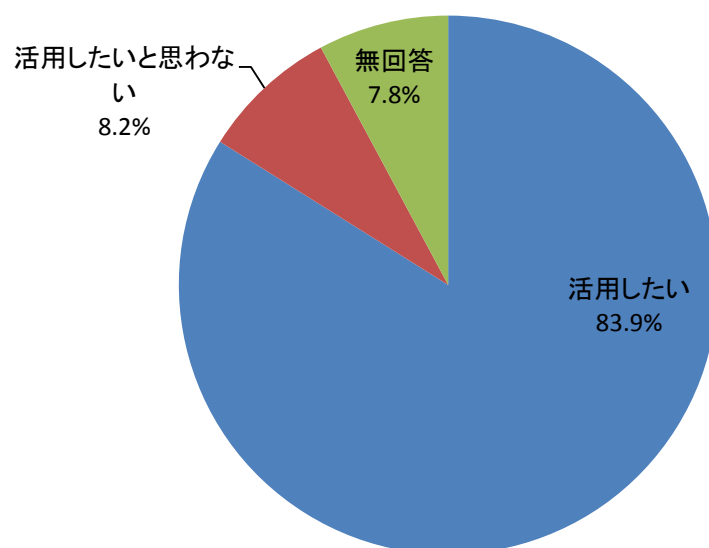
(問43)



10

再就職のために、登録すると県内の保育所への就職斡旋や情報提供を受けられる仕組み(例 人材バンク)があれば活用したいか

(問45)

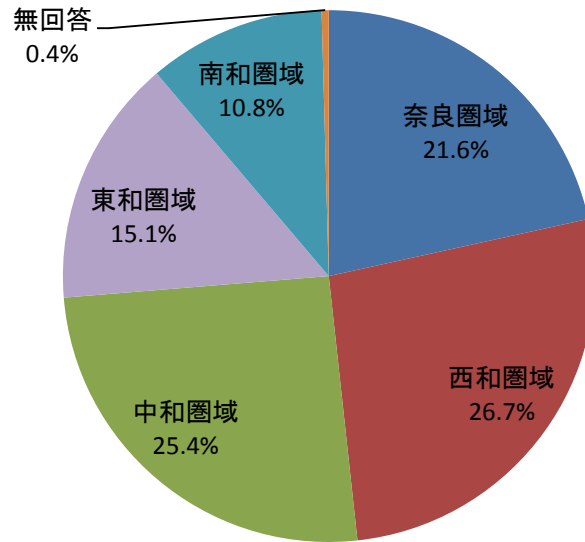


保育士実態調査(保育施設用)集計結果

【属性】

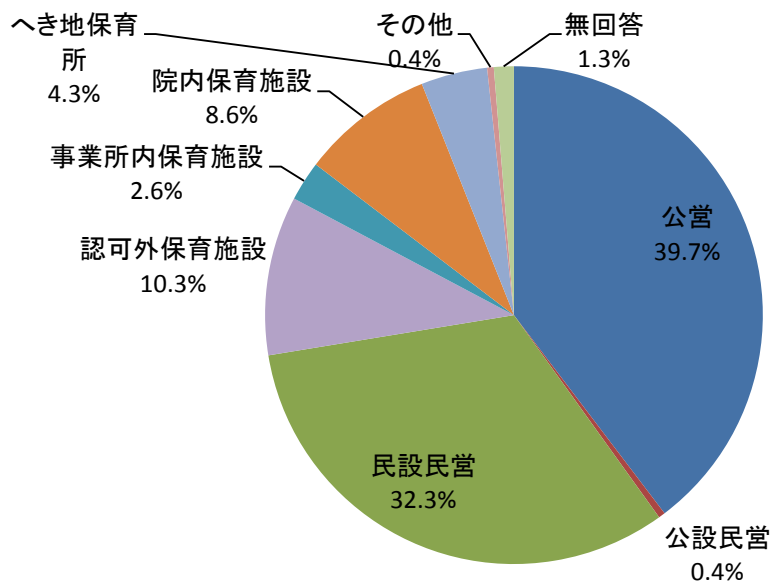
◇施設の所在圏域

(問1①)



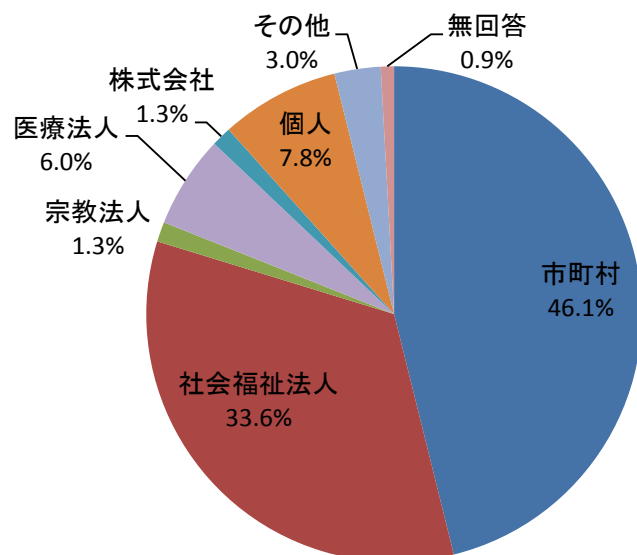
◇施設の種類

(問1②)

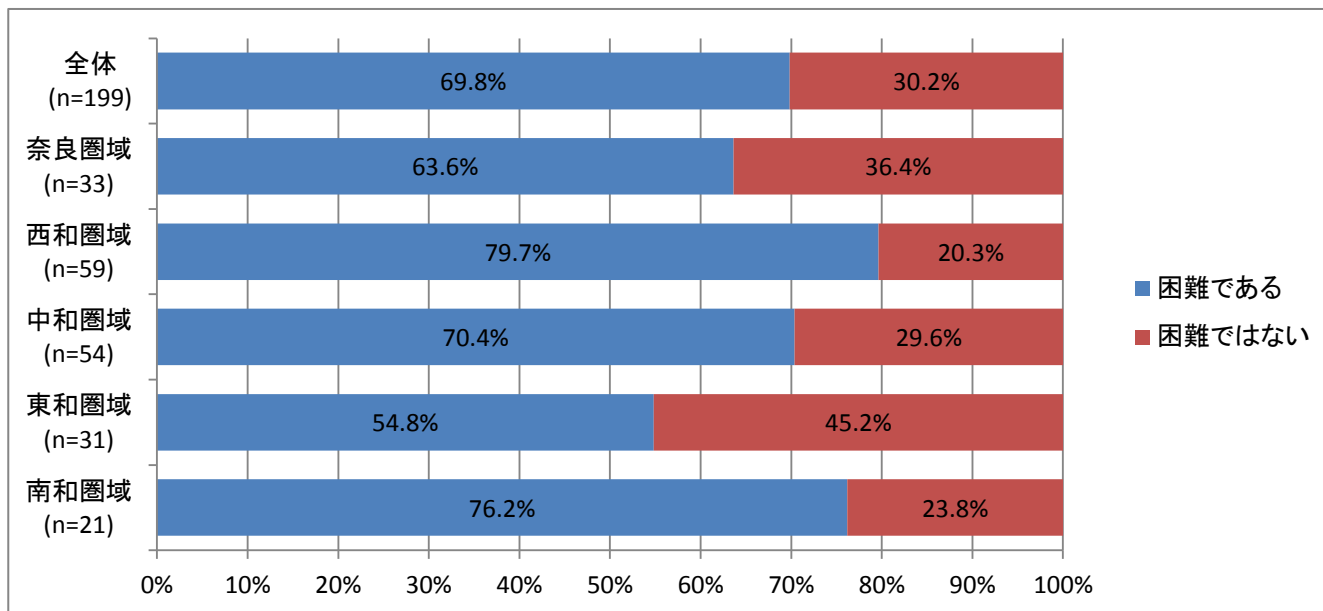


◇設置主体

(問1③)

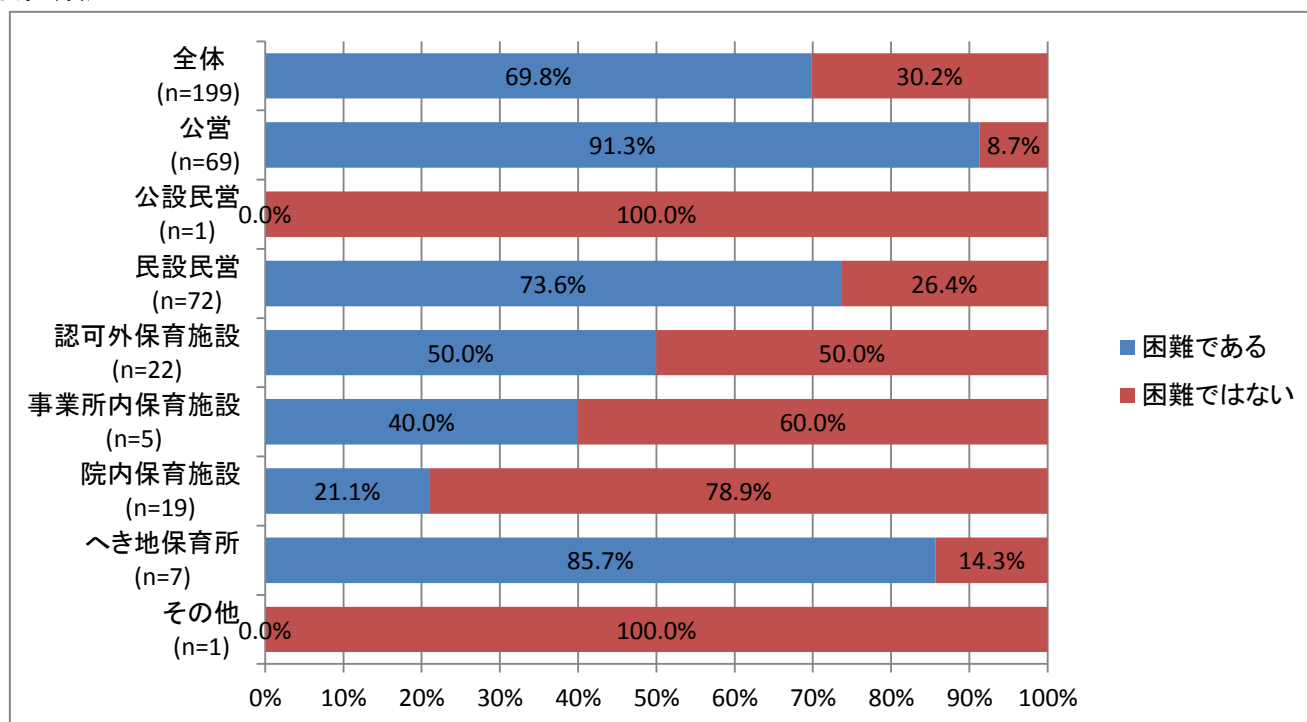


◇圏域別



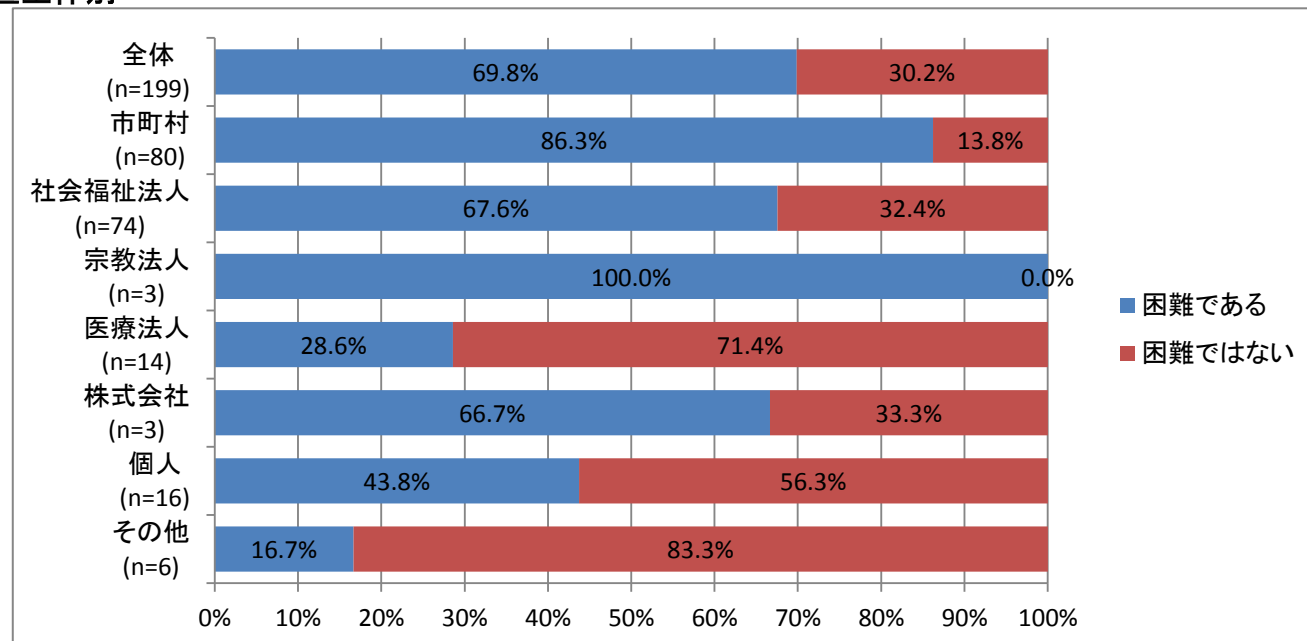
※無回答は除く

◇施設種類別



※無回答は除く

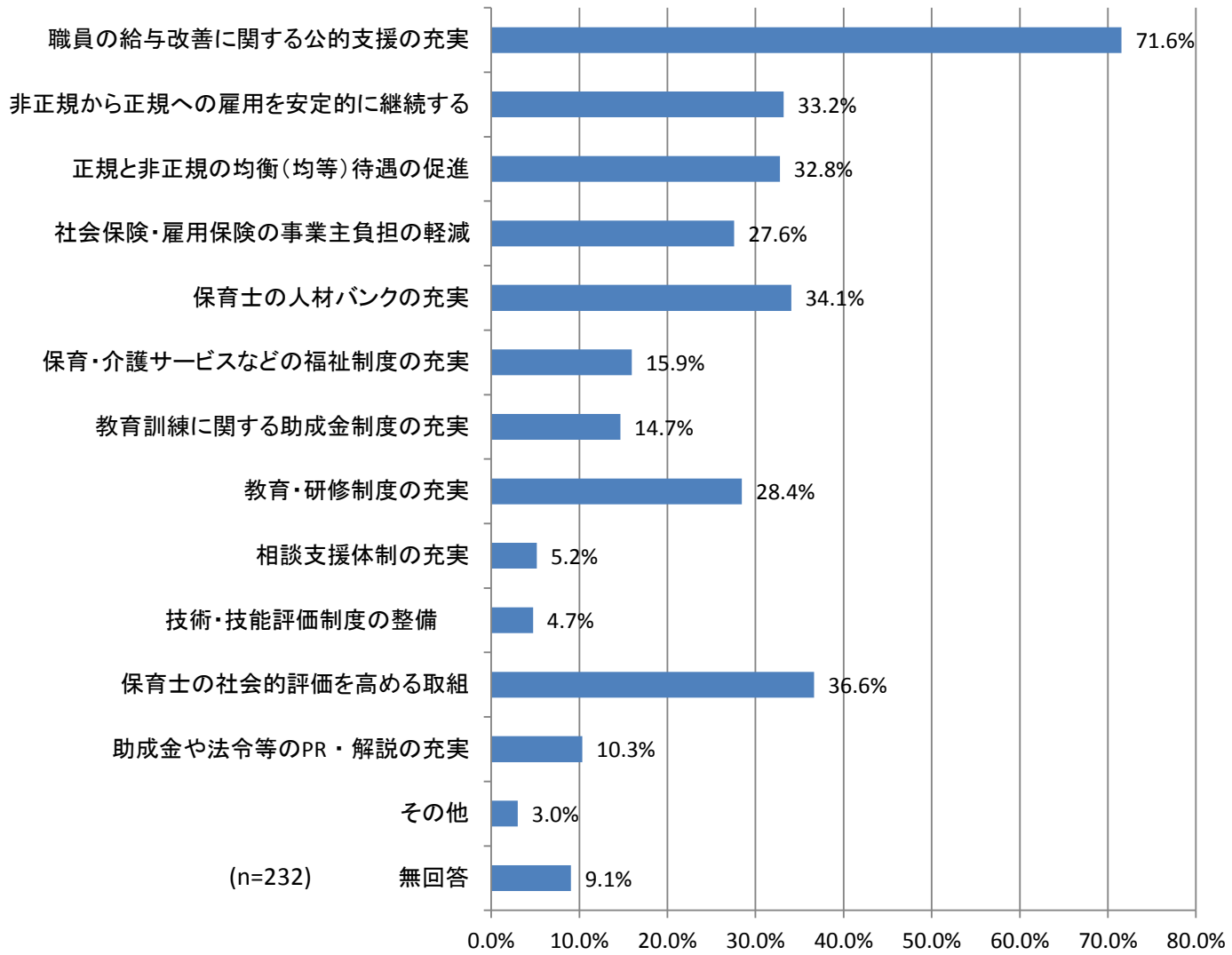
◇設置主体別



※無回答は除く

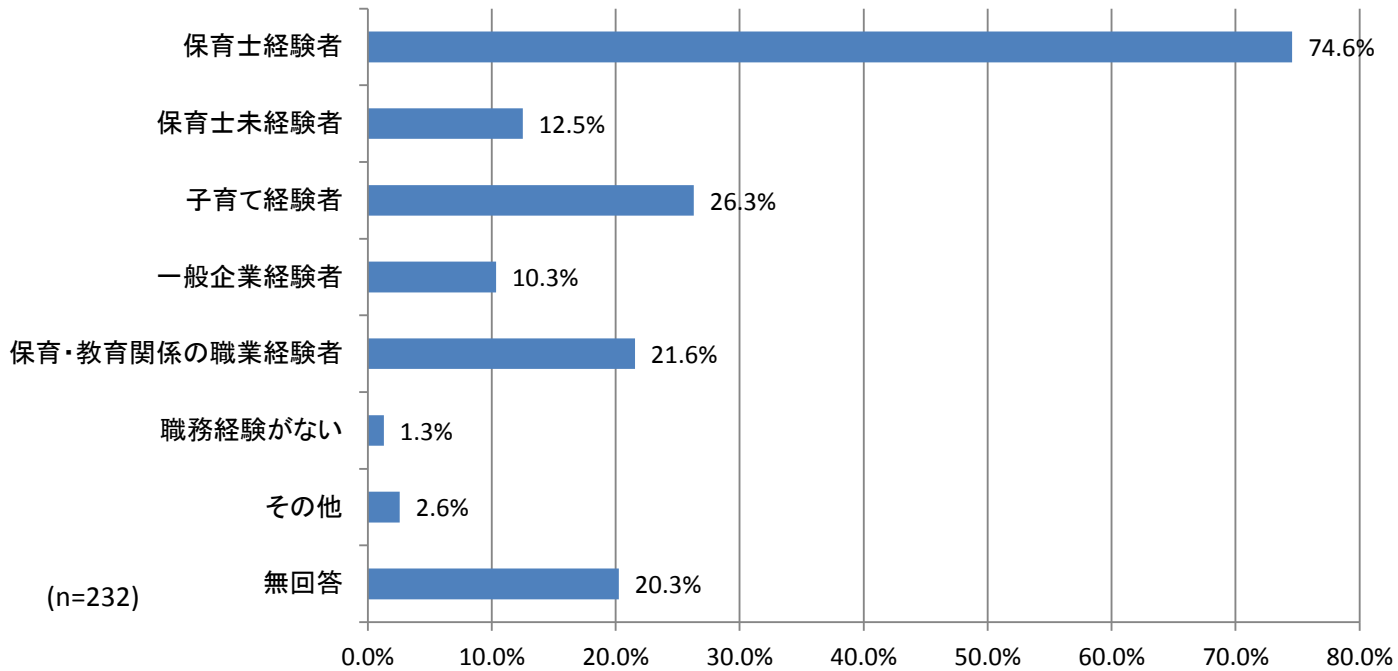
2 貴施設において、保育士を安定的に雇用していくために望む公的支援は何ですか(複数回答)

(問10)



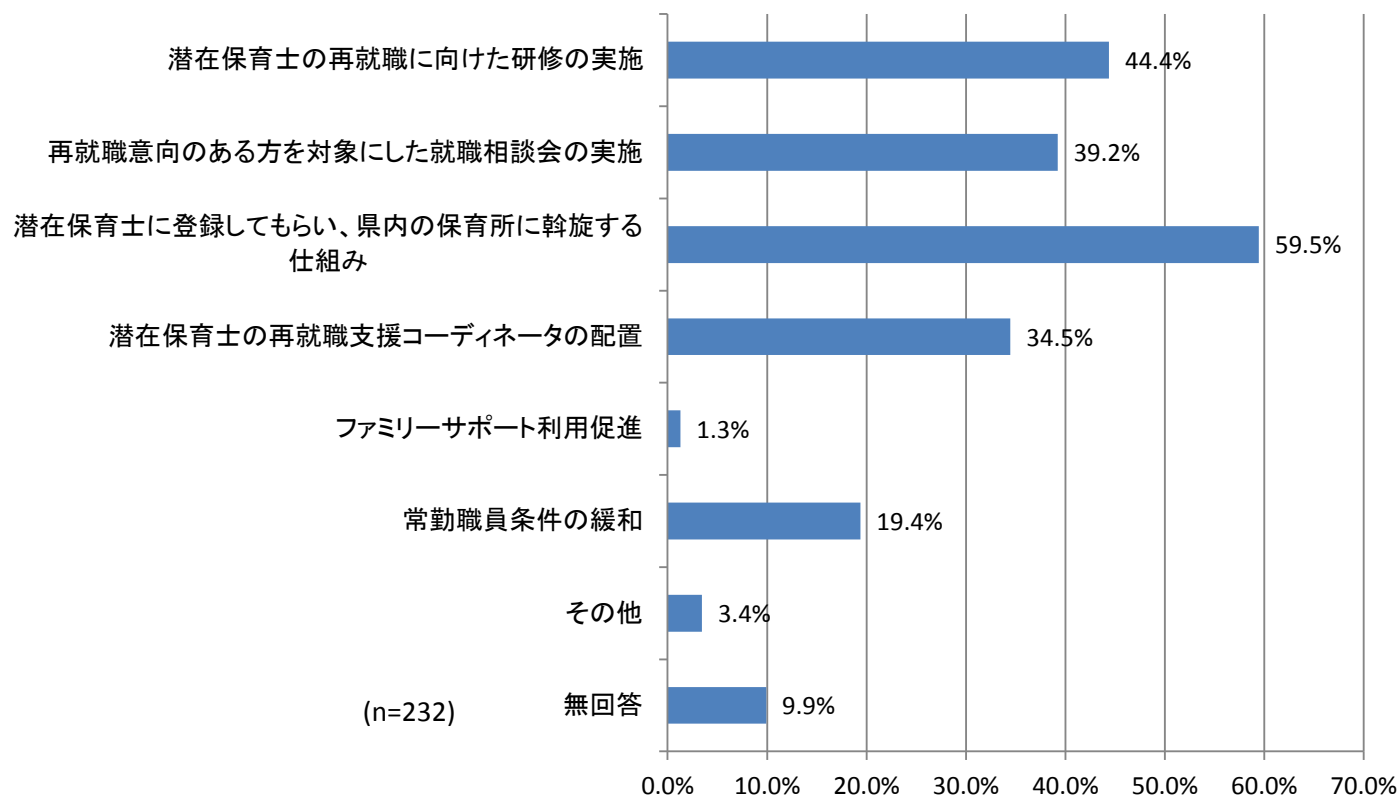
3 新卒以外で採用した保育士の経歴(複数回答)

(問12-2)



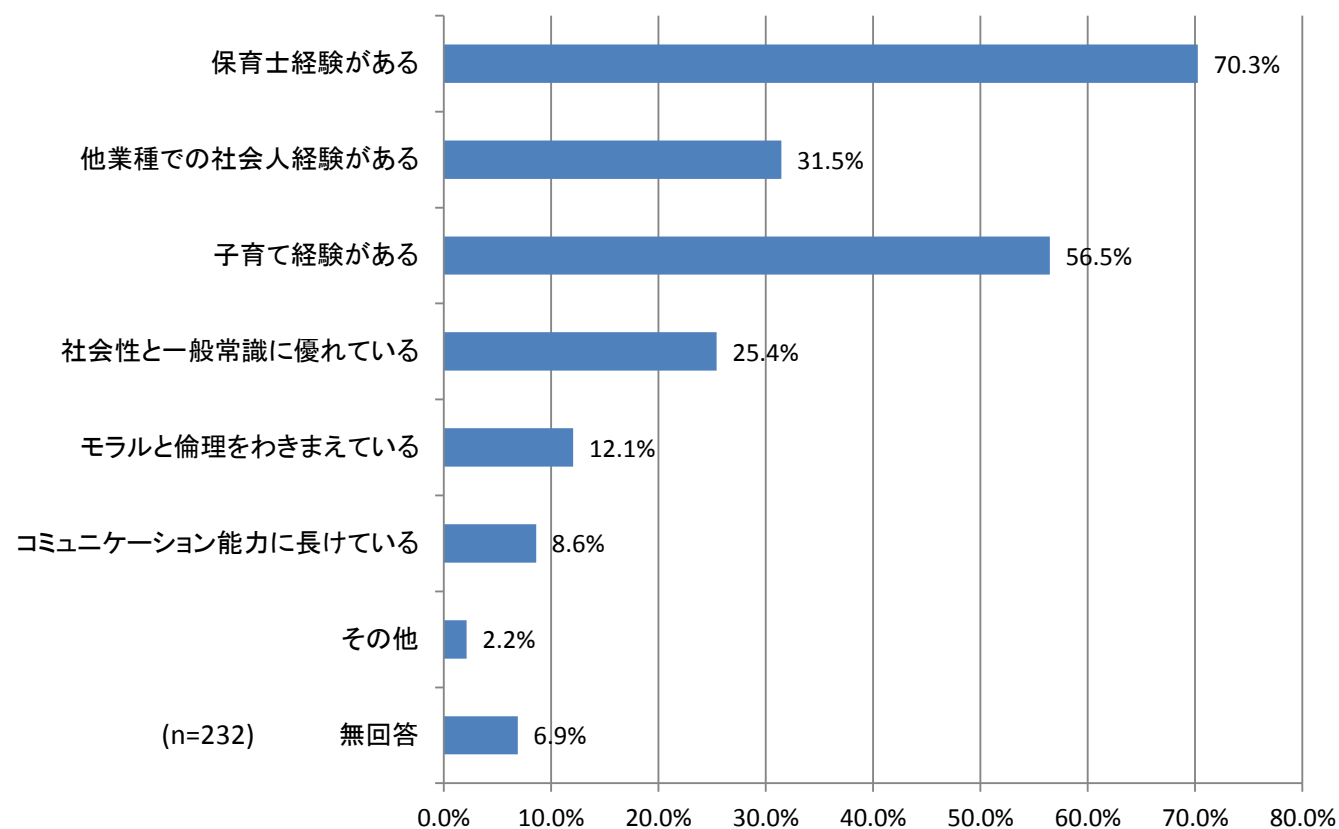
4 今後、保育士の雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(〇は3つまで)

(問16)



5 潜在保育士を雇用するメリット(〇は3つまで)

(問17①)

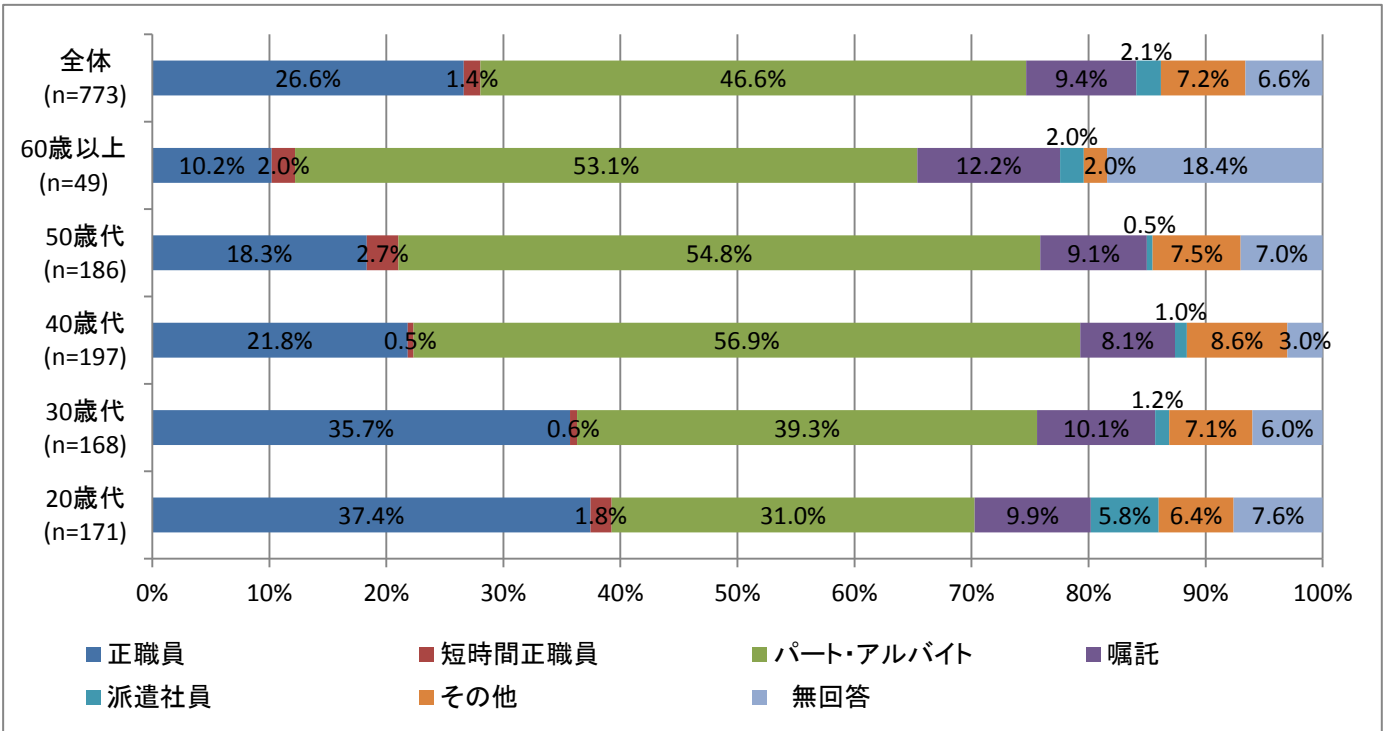


主なクロス集計結果

1 希望する雇用形態(年代別)

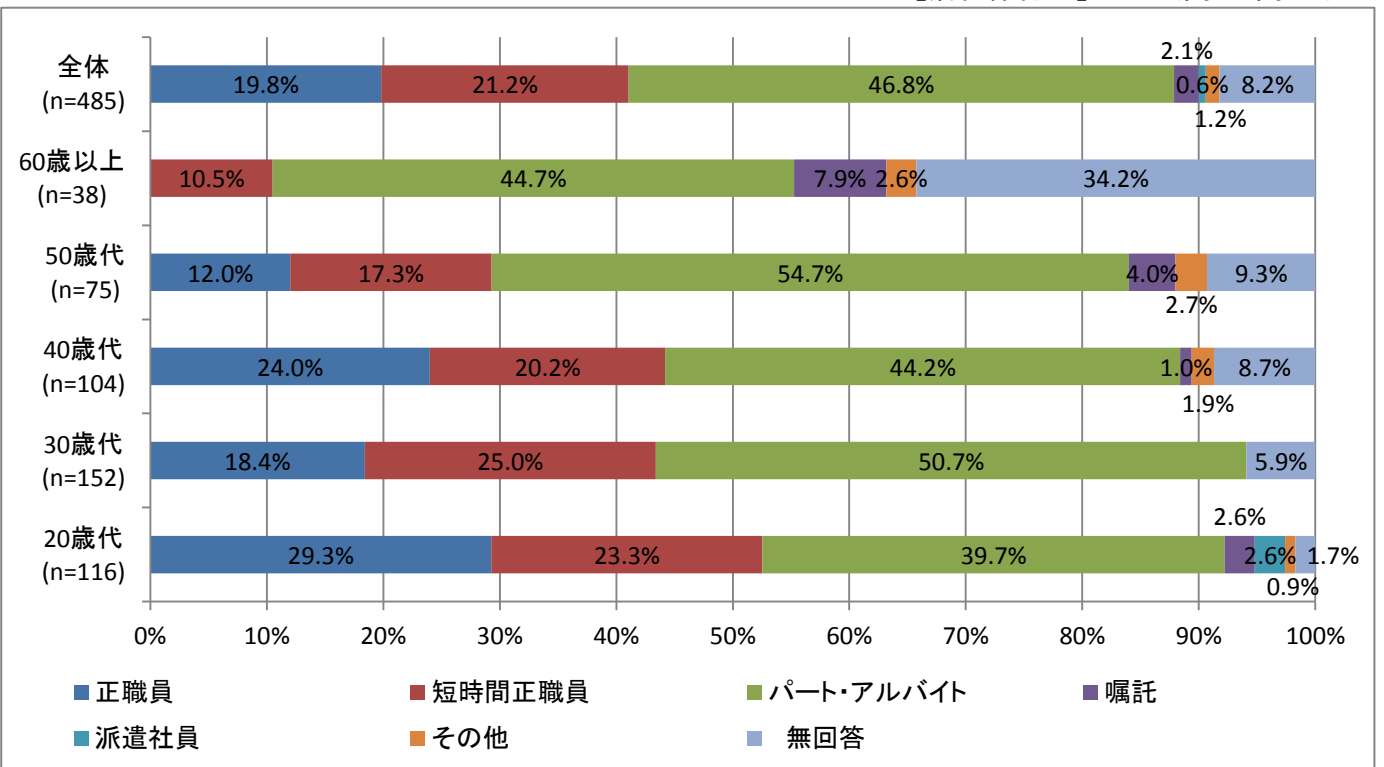
○全体としては、約半数の方がパート・アルバイトを希望しており、年齢が上がるほどその割合は高くなる。

【現任保育士】 (問1と問31)



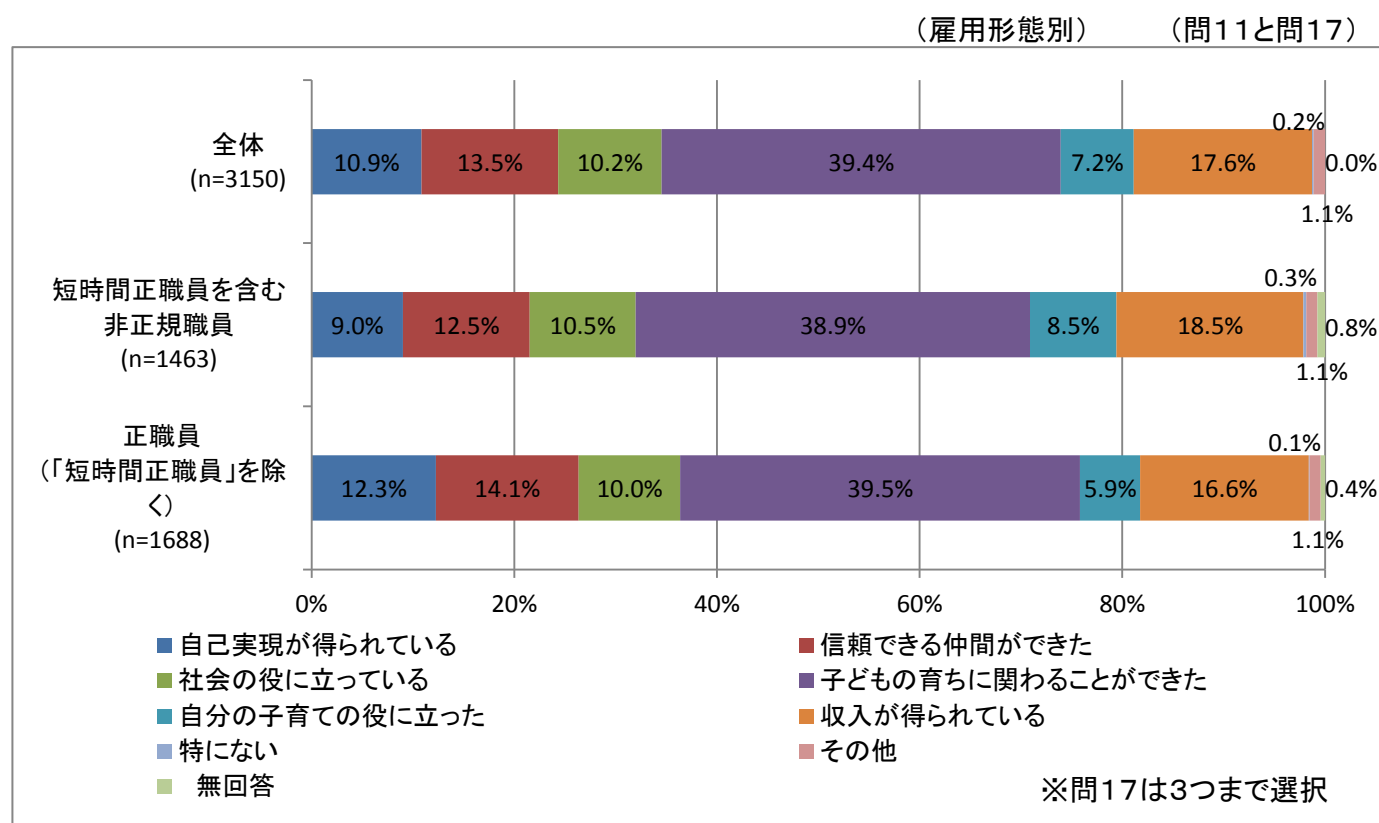
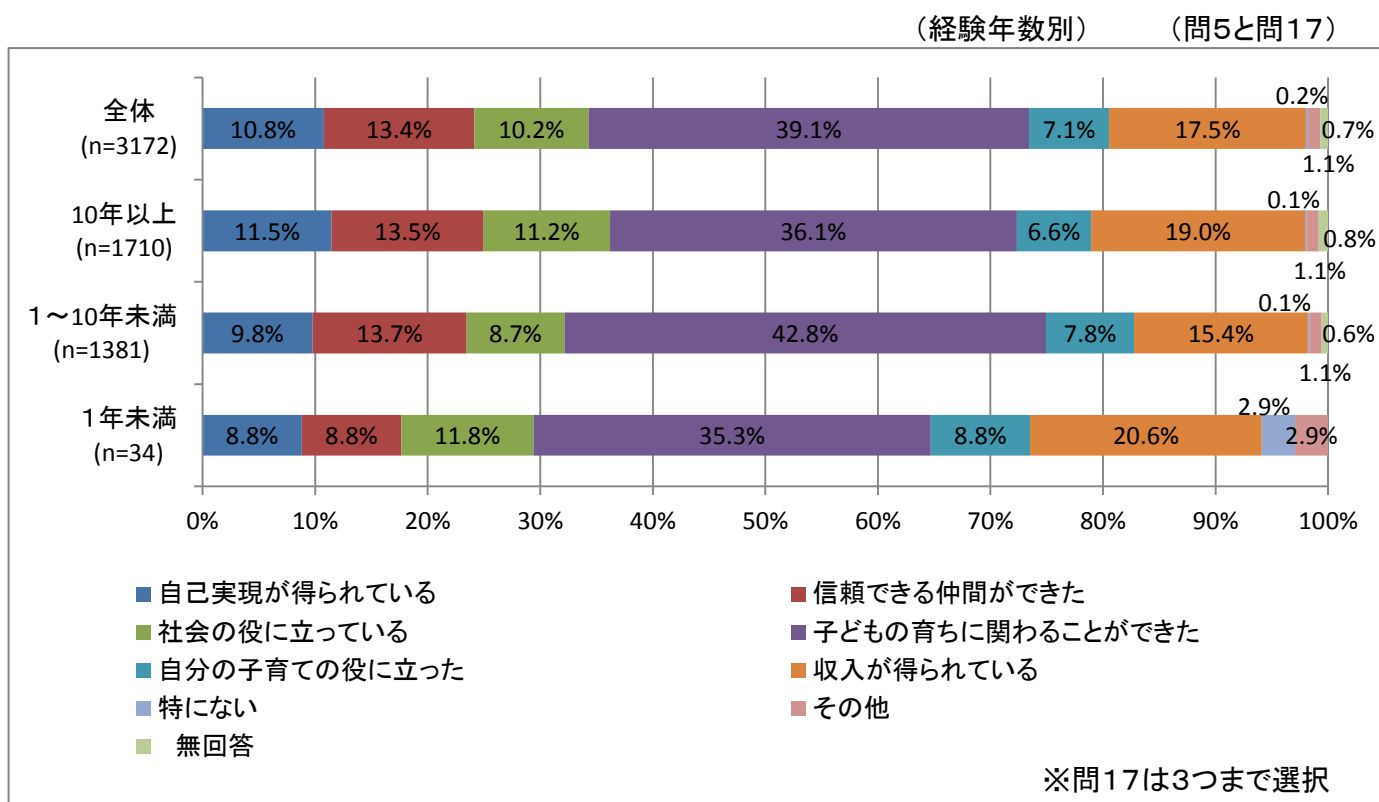
○全体として、約半数の方がパート・アルバイトを希望しており、年齢が上がるほどその割合は高くなっていることは、現任保育士と同様であるが、潜在保育士では、短時間正職員を希望する方が、60歳以上を除く、どの年代にも約20%みられる。

【潜在保育士】 (問1と問40)



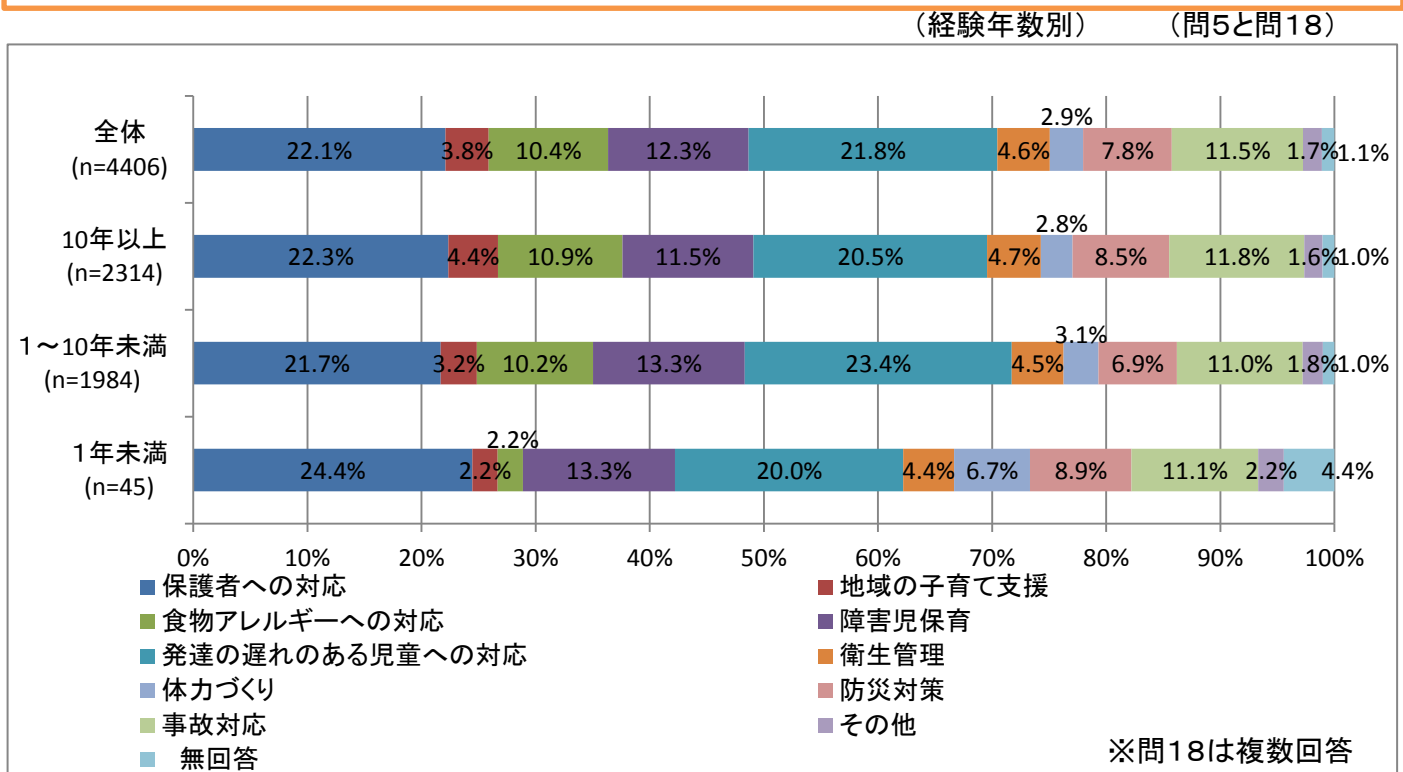
2 保育士としてやりがいに感じること

○全体としては、「子どもの育ちに関わることができた」「収入が得られている」「信頼できる仲間ができた」が上位を占めており、その傾向は保育士としての経験年数、雇用形態に関わらずほぼ同じとなっている。

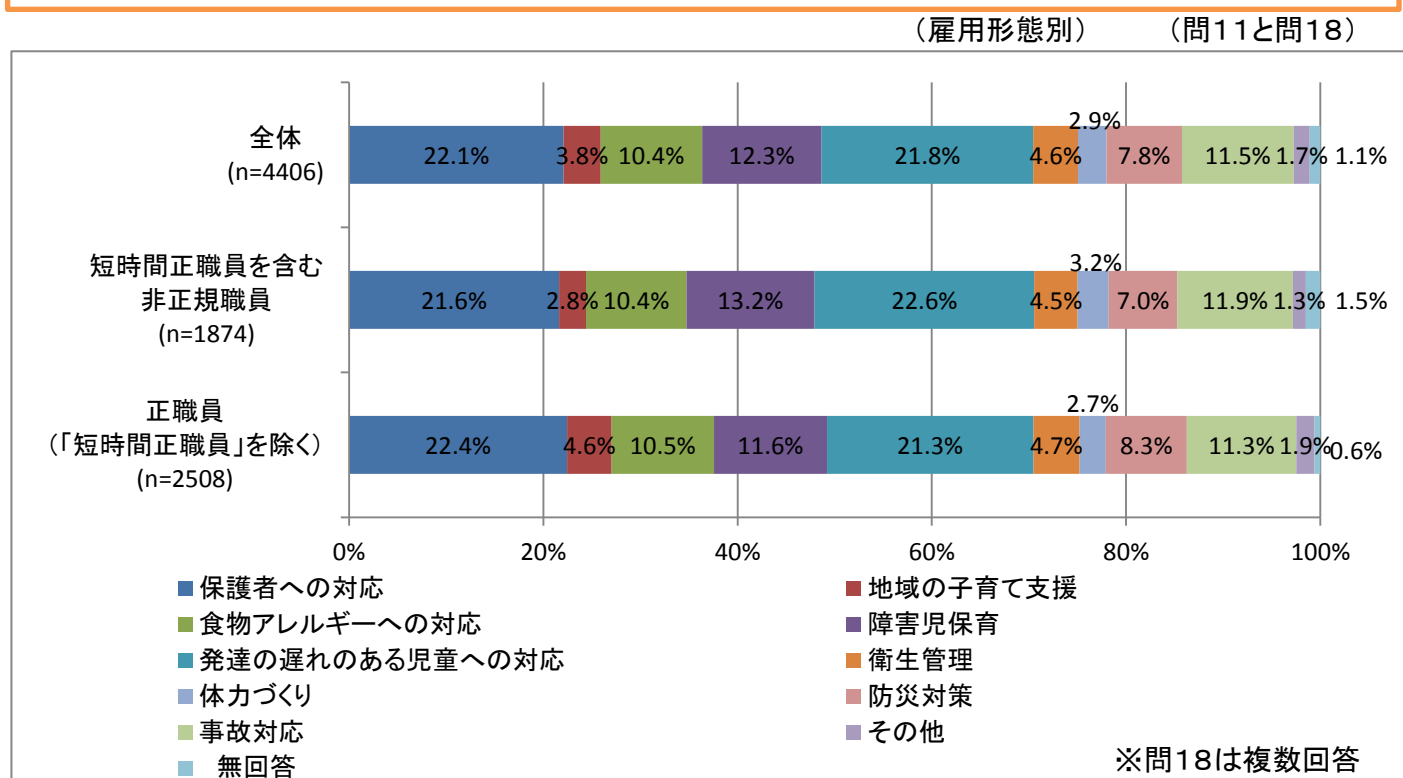


3 保育士として対応が難しいと感じること

○全体としては、「保護者への対応」「発達におくれのある児童への対応」「障害児保育」の順になっている。10年以上では、1位2位は同じで、3位に「事故対応」となっており、1～10年未満では、1位と2位が入れ替わっている。また、1～10年未満では「発達に遅れのある児童への対応」「障害児保育」をあわせると約35%で、他の就業年数よりも高い。



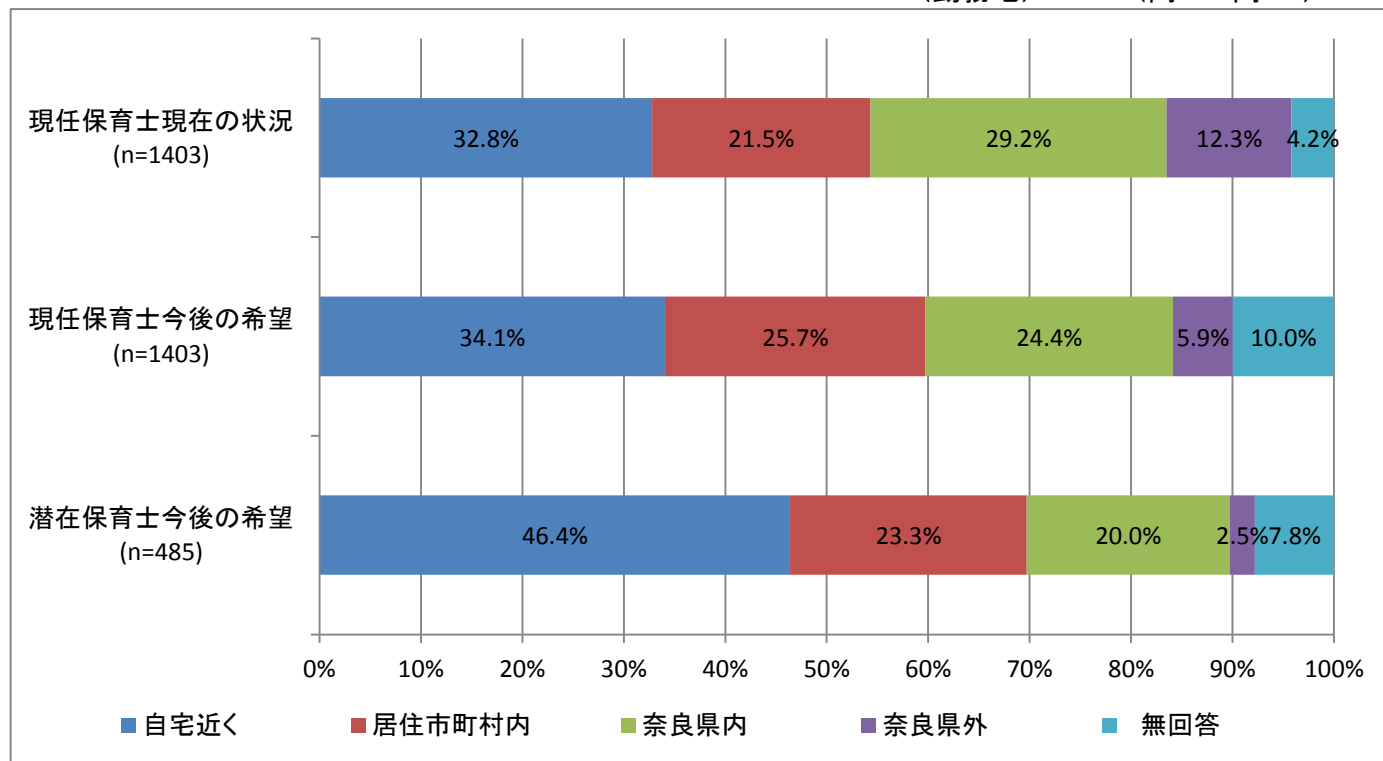
○全体としては、「保護者への対応」「発達におくれのある児童への対応」「障害児保育」の順になっており、正職員では同じ傾向となっており、短時間正職員を含む非正規職員では、1位と2位が入れ替わっている。また、正職員では「地域の子育て支援」が多くなっている。



4 希望する勤務地・通勤時間（現任保育士の現状と希望、潜在保育士の希望）

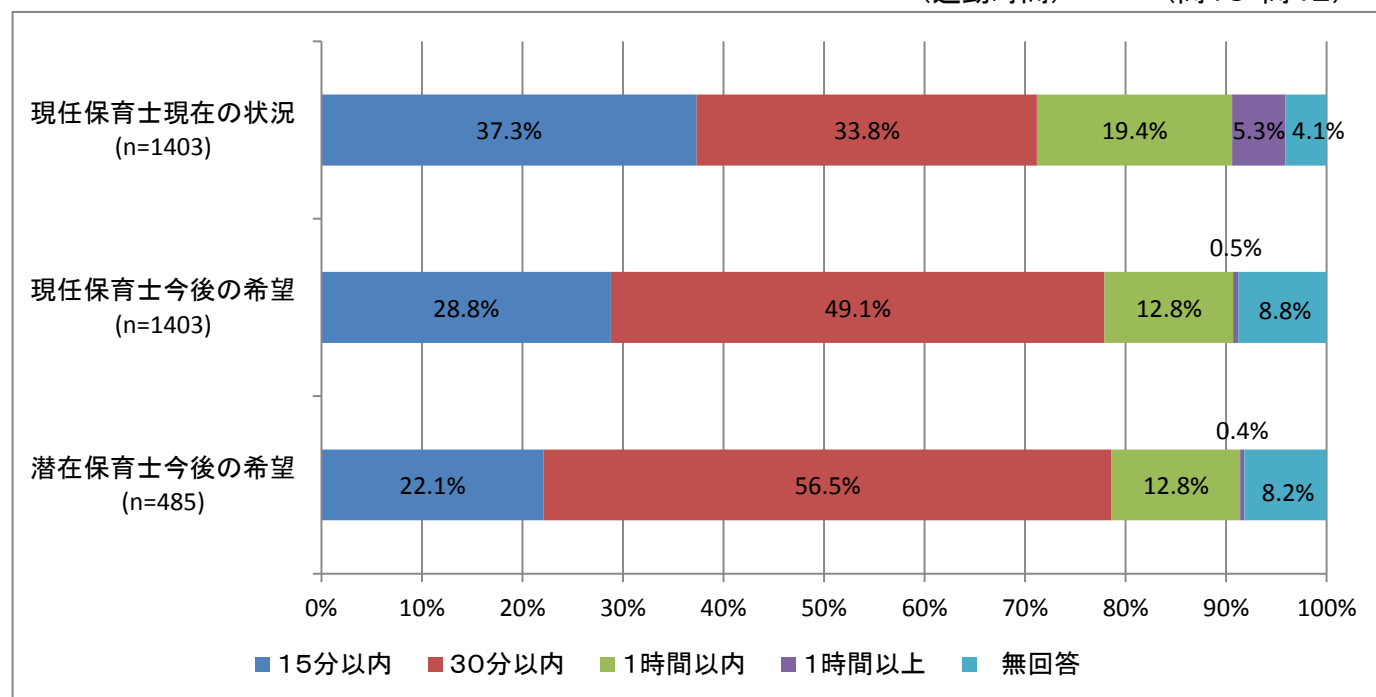
○勤務地については、現任保育士の現在の状況では「自宅近く」が約33%であり、「居住市町村内」とあわせると約54%を占めている。今後の希望は、「自宅近く」「居住市町村内」ともに増加し、あわせると約60%となる。潜在保育士の希望する勤務地も同じ傾向であり、「自宅近く」「居住市町村内」をあわせると約70%となっている。

（勤務地） （問13・問42）



○通勤時間については、現任保育士の現在の状況では「15分以内」が約37%であり、「30分以内」とあわせると約71%を占めている。今後の希望は、「30分以内」が大きく増加し、あわせると約78%となる。潜在保育士の希望する通勤時間も同じ傾向であり、「15分以内」「30分以内」をあわせると約78%となっている。

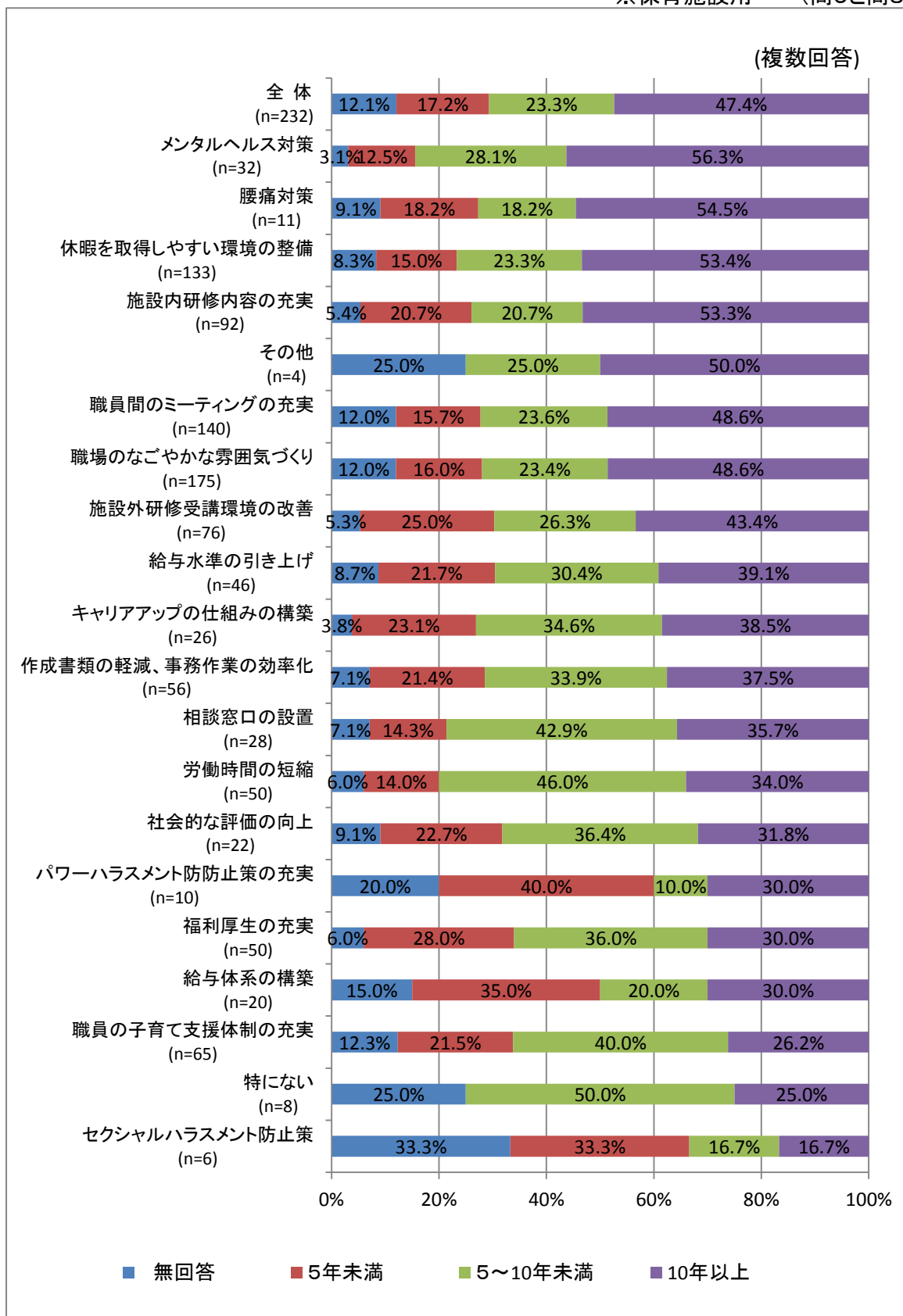
（通勤時間） （問13・問42）



5 職場定着のための取組と勤続年数との関係

○勤続年数10年以上と答えた施設は、「メンタルヘルス対策」「腰痛対策」「休暇を取得しやすい環境の整備」「施設内研修内容の充実」に取り組んでいる。

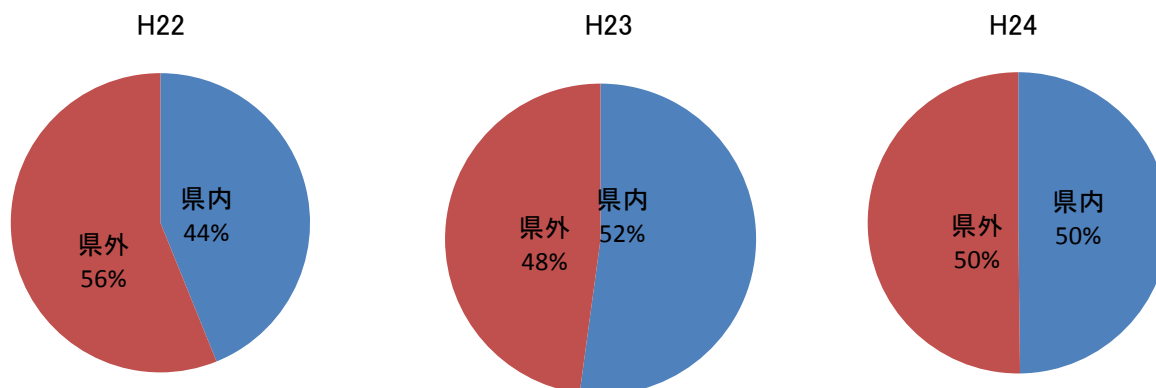
※保育施設用 (問5と問8)



県内保育士養成校アンケート調査(施設用)集計結果

○対象: 県内保育士養成校(8校)
○調査期間: 平成25年9月～10月

1 認可保育所に就職した学生の内訳(県内・県外)について人数をご記入ください。



年度	H22			H23			H24		
	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外
計	196	86	110	186	97	89	275	137	138

2 学生に対して実施している就職支援策について、あてはまるもの全て回答してください。

項目	実施数
1 早い時期での個別のキャリアガイダンス	7校/8校中
2 現場見学会	実施なし
3 インターンシップ(学外実習)	3校/8校中
4 就職フェア	実施なし
5 その他	2校/8校中

<5 その他>の内容

- ・模擬試験
- ・保育士を目指す3年生を対象とした学内講座を開催

3 卒業生に対する就職支援策について

支援策の内容
・未就職者や離職者への求人斡旋
・問合せに対する個別の求人提供
・模擬試験
・採用活動中の保育所の照会
・相談に対する個別指導、就職先紹介
・進路先訪問による追指導

4 保育士としての就労や労働環境について、県に期待する施策も含め、ご意見・ご提案などご自由にご記入ください。

・公立保育所はまだしも、民間保育所の場合、もう少し給与面での改善が図れないものかと思えます。男子学生が将来家庭を担うとなるとせっかく保育士資格をとっても民間企業就職を考えざるを得ない状況があります。

・大阪では、保育所・園の方と保育士養成校との懇談会があり、意見交換が行われています。奈良でも、保育所・園の方との意見交換会があれば、双方にとって、より良い関係が築けるのではないかと思う。

・県内保育所の合同就職説明会の実施、潜在保育士の再教育等、養成施設と連携した就職支援を望んでいる。また、サービス残業等、環境の悪さが人手不足の一端であると思う。

・保育士の求人を集約し、求職者が閲覧できるような人材バンク制度があればいいと思う。

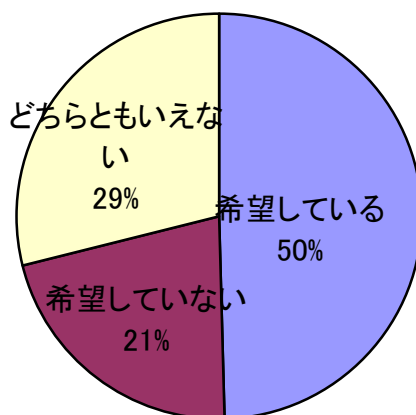
・他府県では私立保育園の団体が合同説明会を開催しており、多くの学生が参加している、奈良県内の私立保育園ではそのような機会が無いので、就職説明会を施策として取り組んでほしい。県内の保育園の採用情報を集約し、HP上で情報を公開してほしい。

県内保育士養成校アンケート調査(学生用)集計結果

○対象者: 県内保育士養成校(8校)の学生

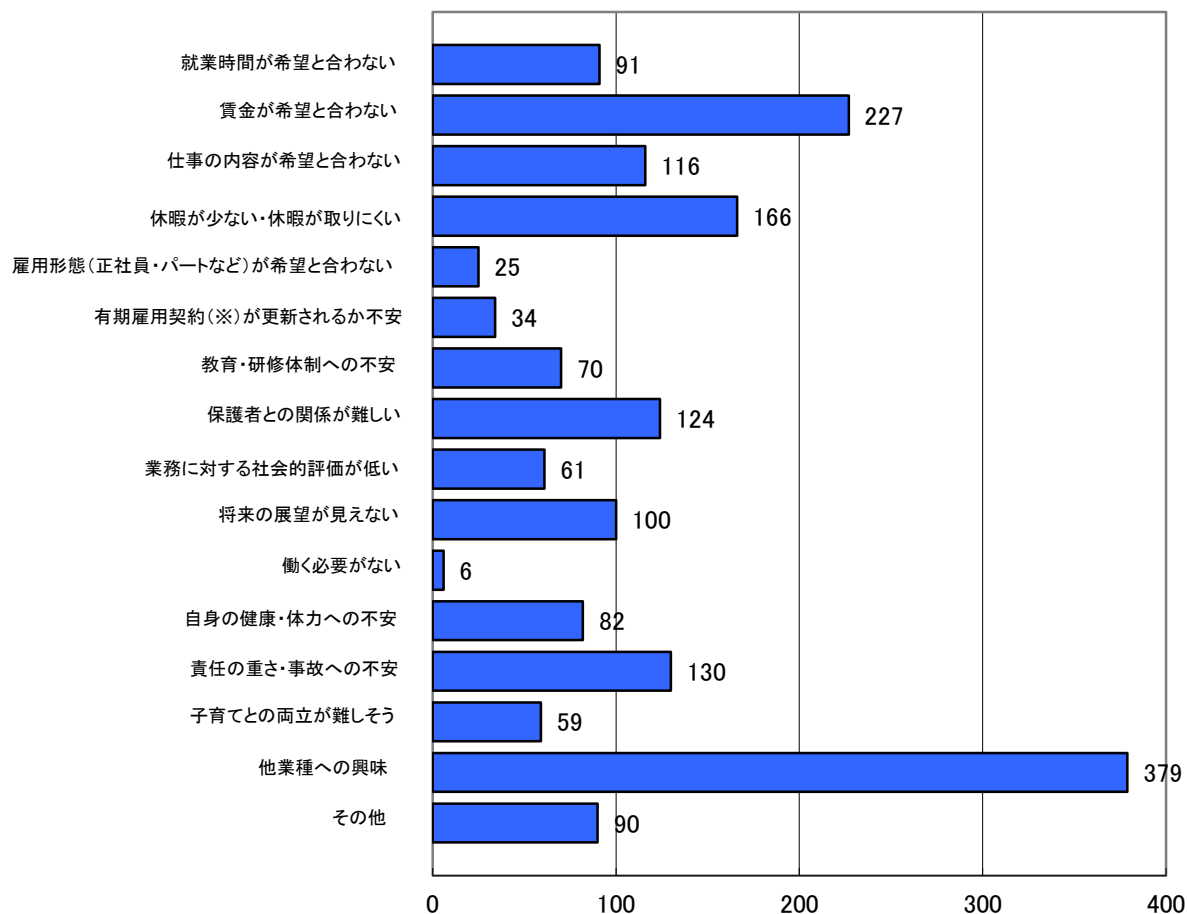
○回答者: 1287名 内訳 1年生468名 2年生418名
3年生218名 4年生183名

1 あなたは保育士としての就職を希望していますか？

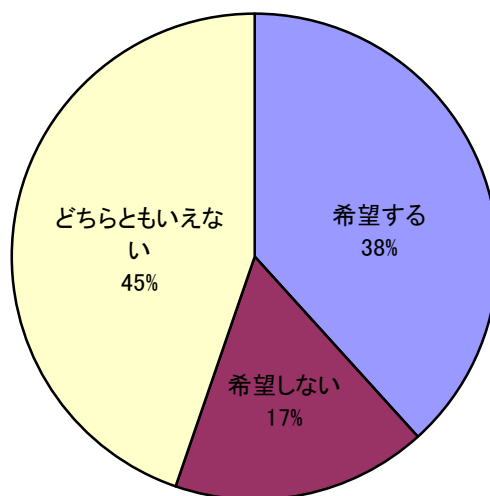


◆上で「希望していない」または「どちらともいえない」と回答された方にお伺いします。

2 その理由は何ですか？



3 2が解消された場合には保育士としての就職を希望しますか。



4 保育士の就労や労働環境についてご意見・ご提案などご自由にご記入ください。(主なもの)

・就業時間に対して賃金が低すぎると感じます。(他多数)
・ボランティアに行って講師が多いと感じた。
・業務や精神的に負担に見合った賃金にすべきだと思います。
・仕事が時間も精神的にも技術的にも大変なのに、給料がそれに伴っていないと思います。
・保育士の数が少ないという割りに、就職試験などが厳しいのでどうなのかなとったりします。
・保育所、保育士不足のこの世の中で、現在の形式では働きにくい。働きやすい環境を作ってほしい。
・責任ある仕事なので、もっとふるいの目を細かくしても良いのではないのでしょうか？
・保育士の採用試験の時期をもっと早めて欲しい。(8月以前)
・休みはしっかりと欲しい。
・待機児童が増えていると良く聞くので、待機児童専用の園をもっと増やすと親としては助かるのではないかと思う。
・採用を増やして交代制でできるようにしたらよいと思います。
・男性保育士が働ける環境がほしい。
・私立の保育所では若いうちにしか雇ってもらえない。続く職にならない。
・労働時間が不規則と聞いているので、改善部分があるのではないかと思う。また、どのような改善がなされているのか知りたい。
・延長保育の仕事の深刻化、待機児童の増加に伴う定員数の拡大などが解決されること。
・障害を抱えている子に対する対応、環境。
・賃金と社会的地位の向上は重要だと思う。